



内部監査メソドロジー 高度化支援

EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社

いまの内部監査メソドロジーで、ステークホルダーを満足させることができますか？

内部監査人のスキルアップ、テクノロジーの活用拡大、内部監査のコンテンツ拡充等は、内部監査の品質を向上させる上で不可欠ではありますが、それらだけでは、内部監査のサービス価値を抜本的に変えることはできません。

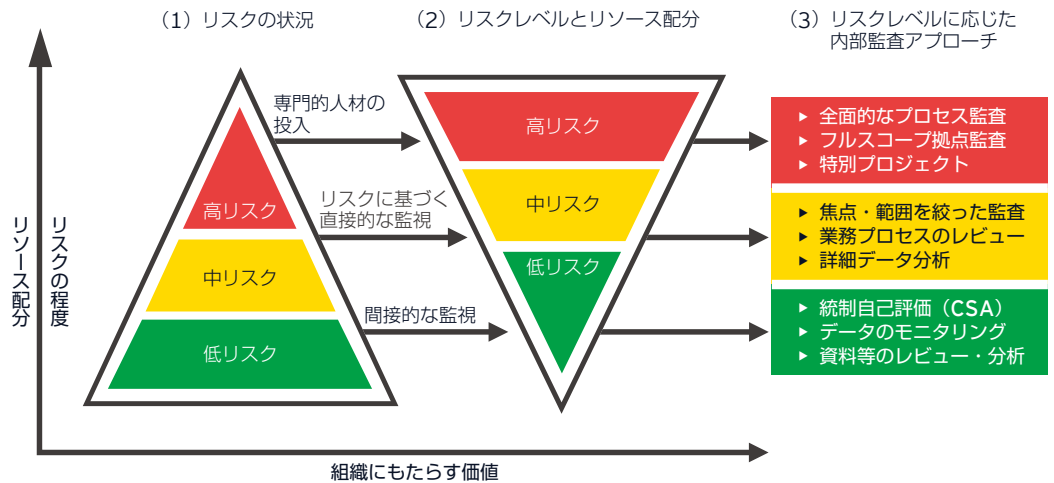
内部監査のサービス価値を変革するためには、内部監査の根幹であるメソドロジーを見直す必要があります。

EYでは、下例のようなメソドロジーをはじめ、多様な内部監査メソドロジーを有しています。これらのメソドロジーを効果的に活用することにより、貴社の内部監査のサービス価値の変革を実現します。

- ▶ リスクベース監査
- ▶ コンサルティング型監査
- ▶ 異常点監査
- ▶ 経営監査

リスクベース監査の導入支援

限られたリソースで価値の高い内部監査を実現するため、監査対象組織のリスクの抽出から評価・分析、リスクに応じた監査手続の設計、リスクベースの監査報告に至るまで、リスクアプローチによる内部監査の導入をサポートします。



コンサルティング型監査の導入支援

内部監査の組織体の目標達成への貢献度を高めるため、組織の最終目標達成指標 (KGI: Key Goal Indicator)、および、その成功/失敗条件の測定指標 (KPI: Key Performance Indicator) にダイレクトにアプローチする内部監査の導入をサポートします。

【コンサルティング型監査における監査要点の導出イメージ】

STEP1 事業活動の構成要素モデルによる各社の事業活動のプロファイリング

STEP2 監査要点モデルによる事業活動の構成要素ごとの監査要点の洗い出し

事業活動の構成要素		監査要点															
		規範性	準拠性	正確性	実在性	網羅性	安全性	適時性	明瞭性	伝達性	均質性	適合性	採算性	生産性	可用性	正当性	
環境	ルール	●				●			●	●		●				●	
	方針・戦略	●							●	●		●				●	
	組織											●		●		●	
資産	設備 (ITを含む)				●		●					●	●	●	●	●	
	資金						●					●	●	●	●	●	
	人的資源						●					●	●	●	●	●	
	情報・知識・ノウハウ			●		●	●	●		●		●			●	●	
	その他資産				●		●					●	●	●	●	●	
業務プロセス	目標設定・計画設定								●	●			●			●	
	開始	依頼、申請、受付		●	●		●		●	●					●		●
		判断、審査		●			●		●		●				●		●
	実施	契約		●			●		●	●				●	●	●	●
		入力、登録、起票、起案		●	●	●	●	●	●	●					●		●
		執行、処理、加工		●	●	●	●	●	●	●		●			●		●
	結果のチェック	点検、私見、検証、評価、測定、審査		●	●		●		●			●			●		●
		監視					●		●			●			●		●
	終結	確定、完了、受領、記録		●			●		●								
		保管		●			●	●									
	結果連絡	受け渡し、転送、伝達、提出					●		●		●						
		報告		●	●		●		●	●	●						
	フォローアップ	改善/対応/是正の計画策定								●	●		●	●			●
改善/対応/是正の実行						●		●					●			●	

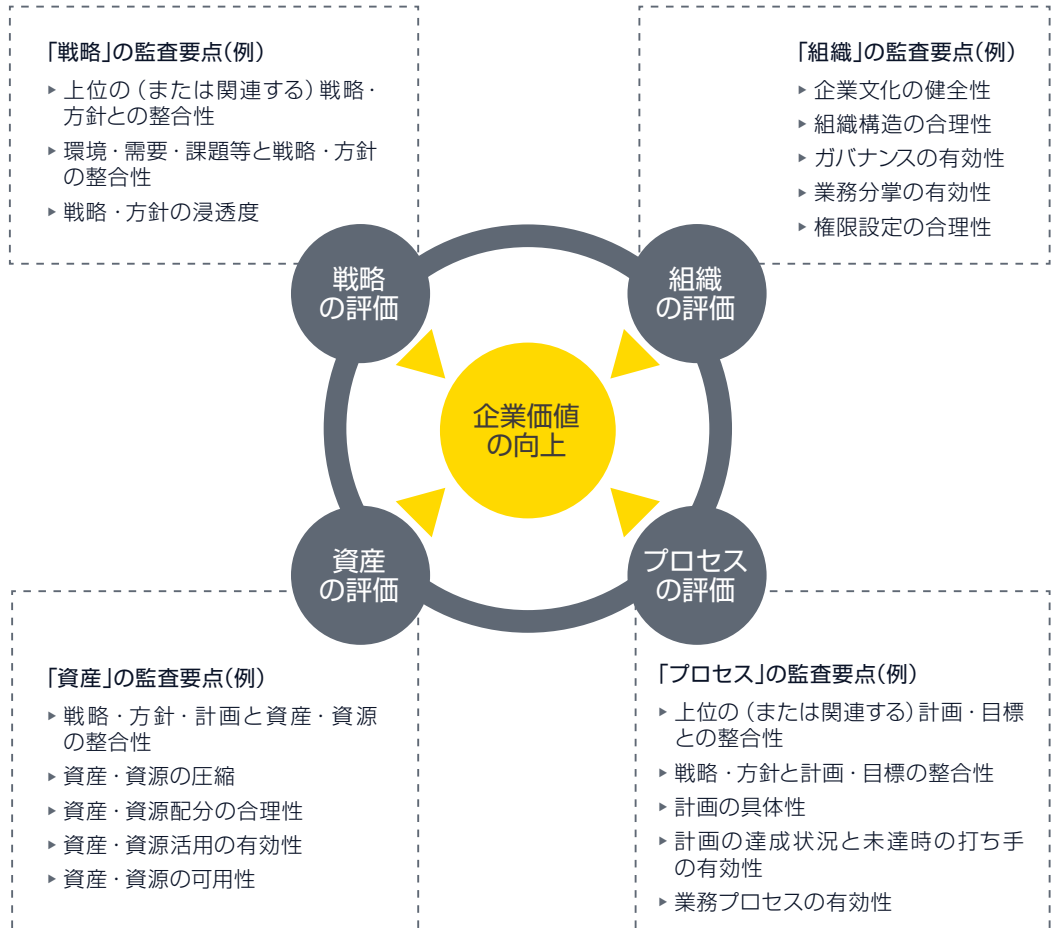
異常点監査の導入支援

リソースや監査期間の制約があるため、網羅的に監査を実施することが困難な場合が多く存在します。そのような状況下においても、的確に問題点を発見するためには、ある程度、問題のありそうなところに狙いを絞る必要があります。そこで、EY独自の異常点モデルを用いて漏れなく効率的に異常点を導き出し、異常点の分析・検証に重点を置く監査アプローチの導入をサポートします。

プロセスの異常点カテゴリ	アウトプットの異常点カテゴリ
違例な処理	通常起こり得ない数値
適用除外	不明瞭な取引先
違例な判断	不明瞭な取引内容
記録の不備	担当外の者による行為
権限・職務の集中	関連データ/資料間の不整合
制限のない利用	現物の実残高と帳簿残高の不整合
放任・放置	目的が不明瞭な業務・処理
	特定の取引先に偏って発生する違例事態
	特定の者に偏って発生する違例事態
	長期未解決の違例事態

経営監査の導入支援

EYでは、経営監査の目的を「企業価値の向上」として設定し、「戦略の評価」、「組織の評価」、「資産の評価」および「プロセスの評価」の4つの視点から経営監査のフレームワークの構築を行い、「Trusted Advisor」、「経営に資する監査」の実現を支援します。



EY | Building a better working world

EYは、「Building a better working world ～より良い社会の構築を目指して」をパーパス（存在意義）としています。クライアント、人々、そして社会のために長期的価値を創出し、資本市場における信頼の構築に貢献します。

150カ国以上に展開するEYのチームは、データとテクノロジーの実現により信頼を提供し、クライアントの成長、変革および事業を支援します。

アシュアランス、コンサルティング、法務、ストラテジー、税務およびトランザクションの全サービスを通して、世界が直面する複雑な問題に対し優れた課題提起 (better question) をすることで、新たな解決策を導きます。

EYとは、アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのグローバルネットワークであり、単体、もしくは複数のメンバーファームを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧客サービスは提供していません。EYによる個人情報の取得・利用の方法や、データ保護に関する法令により個人情報の主体が有する権利については、ey.com/privacyをご確認ください。EYのメンバーファームは、現地の法令により禁止されている場合、法務サービスを提供することはありません。EYについて詳しくは、ey.comをご覧ください。

EYのコンサルティングサービスについて

EYのコンサルティングサービスは、人、テクノロジー、イノベーションの力でビジネスを変革し、より良い社会を構築していきます。私たちは、変革、すなわちトランスフォーメーションの領域で世界トップクラスのコンサルタントになることを目指しています。7万人を超えるEYのコンサルタントは、その多様性とスキルを生かして、人を中心に据え (humans@center)、迅速にテクノロジーを実用化し (technology@speed)、大規模にイノベーションを推進し (innovation@scale)、クライアントのトランスフォーメーションを支援します。これらの変革を推進することにより、人、クライアント、社会にとっての長期的価値を創造していきます。詳しくは ey.com/ja_jp/consulting をご覧ください。

© 2023 EY Strategy and Consulting Co., Ltd.
All Rights Reserved.

ED None

本書は一般的な参考情報の提供のみを目的に作成されており、会計、税務およびその他の専門的なアドバイスを行うものではありません。EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社および他のEYメンバーファームは、皆様が本書を利用したことにより被ったいかなる損害についても、一切の責任を負いません。具体的なアドバイスが必要な場合は、個別に専門家にご相談ください。

ey.com/ja_jp

サービスに関するお問い合わせ先

EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社
東京都千代田区有楽町一丁目1番2号 東京ミッドタウン日比谷
日比谷三井タワー
03 3503 3500 (代表)